# 日本学生支援機構

令和7年度大学等奨学生

「高校予約採用者」採用候補者説明会

大学等奨学生採用候補者に決定された方は、大学等へ進学後に手続きを行わないと奨学金の振り込みが開始されません。

以下をよくお読みのうえ進学後の手続きを忘れずに行ってください。 進学後の手続きを行わないと、奨学金は取り消しになります。

### 採用までの流れ

- 1. 4月上旬に各キャンパスで開催される説明会に参加し必要書類の提出・記入書類のチエックを受ける。
- 2. 書類に不備がなければ、「進学届」(Web入力)に必要な学校のIDとパスワードの交付を受ける。
- 3. 入力期限内に「進学届」を入力する。(入力期限は7ページ参照)
- 4. 進学届けの入力日によって4月・5月・6月から奨学金の振り込みが開始されます。
- 5. 奨学金の初回振り込み日によって異なる日程で採用者説明会を行い、奨学生証・返還誓約書(貸与)・ 決定通知(給付)等を配付します。
- 6. 提出期限内に、配付された返還誓約書とそれに必要な添付書類を提出する。

### 4月1日~7日までに説明会にて、提出・チェックが必要なもの1

・令和7年度大学等候補者決定通知(進学先提出用)提出(記入しておいてください。)

#### この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。 令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】

令和6年10月15日

登録	番号	99999901-100-00999				
学 年	: Arte	3	年	10	組	1
子 4	一寺	出席番	号	A	000001	1
氏	名	学校用 (ガツコウヨウ			様	
			004	#500000		1

#### 交付書類コード= F

※ コードにより交付される書類が異なります。 封筒の裏面にてご確認ください。

\* 99999901

独立行政法人日本学生支援機構

1.	甲込内容及	び選考結果						
ж	込内容	給付奨学金		貸与奨学金	入4	<b>兰時特別增額貸与奨学金</b>		
#	# 12 P) 各 希望する 併用貸与・第一種奨学金・第二種奨学金の審査を希望する							
			給付奨学金	(⊕4)	貸与奨学金			
	200 本	4 田	候補者決定	ア〜ウのうち、「仮	ア〜ウのうち、「候補者決定」と記載のものを1つだけ選択できます			
	選考に結果		支援区分:第		イ:第一種奨学金	ウ:第二種奨学金		
				候補者決定	候補者決定	候補者決定		
要	国籍・在留資格	格等	0	0	0	0		
件	家計に関する	基準	0	0	0	0		
加加	学業成績・学	修意欲に関する基	<b>準</b> O	0	0	0		
件確認(※2)	高卒後の期間、	高卒認定合格(月	1込)	0	0	0		
2	マイナンバー	関係書類の提出	0	0	0	0		
	Z. as file by mit steps	関の扱い		0	0			

- 2本ではたいのとことない。 「その他必要書類の修出」の「その他必要書類」とは、「寝学金確認書」、マイナンバーを提出できない場合の「課税(所得)証明書」等収入等に関す
- 「その地名要称の使用」の「その他を要求的」とは、「実で多数業別、マイナンシーを費用できない場合の「課後(所令)出来的、等収入場に対し 近郊野部等文は担当・信仰書は、指する受け物質は「独立等の 第一年 2000年のおけますを主要します。 今和子様から支援等するデオ権としての支援を受けられる可能性があります。詳細は「給付援学生株別機構をのしおり」20ページ、又は「資本規令を 展別機構のとはり、31ページを全部化しての支援を受けられる可能性があります。詳細は「給付援学生株別機構をのしおり」20ページ、又は「資本規令を 展別機構のとはり、31ページを全部化

#### 採用候補者となった奨学金の内容について

		給付奨学金(注1)	第一種奨学金 (無利子) <sub>(注5)</sub>	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額 貸与奨学金(有利子)
Ti.	用条件	支援区分:第Ⅰ区分◆	併用貸与(	の利用可	日本本体を製り作の「図の
100	2) (21.3)	社会的養護を必要とする人	最高月額利用:可 猶予年限特例:対象		日本政策金融公庫の「国の 教育ローン」の申込:不要
申込時の	貸与額	*******	最高月額	月額120,000円	一時金500,000円
選択内容	返還方式	*******	所得連動返還方式	定額返還方式	定額返還方式
	保証制度 (#6)	*******	機関保証	人的保証	人的保証
(注4)	利率の算定方法	*********	***********	利率見直し方式	利率見直し方式

- 4 日子等学会に応じ、中央の部庭外等」に定職のが容は、「選字組」の提出性になって選択しばすことかできます(日津予組)の提出により7月35千歳にし、その投出変更できない。中央の部庭が発生することがあります。 の投出変更できない。中央の部庭が発生することがあります。 5 第一種学会のプログラインでは、東京外の学校の学校の別、設置者(団会仏)及び選手が無(自宅選手・自宅券基等)により定まる金銭(貸り季生年期日報、 新りよります。 新りよります。 1 第一人の大学会社は、「登録を開加がみり相似から開発となります。また、設計度学会を使せて利用する場合は、第一種理学会の受り用取が開発されます。 6 番大学書学者が、「機関報を設置し、「公内部建設」への内である基本を受ります。

- 「① 本通知に同射されている「給付奨学生採用検補者のしおり」又は「貸与奨学生採用検補者のしおり」を必ず踏んでください。
- 国内大学等進学者は、裏面に記入のうえ、進学後すみやかに進学先学校に提出し、期限内に手続きをしてください。
- ③ 海外大学進学者は「貸与奨学生採用候補者のしおり」33ページに従って手続きを行ってください。

学籍番	- 号				※海外大司	<b> 進学者は記入不要です</b>
学部・:	学科					
(フリカ	(ナ)					
氏名	1					
進学後の	住所	₹				
連絡先 (本人)	電話番号		 	携帯 電話 番号	1-1	-

- 2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずね
- いて自宅外通学である
- 3. 貸与奨学金

#### 字時特別增額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込:必要」 と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。				
ついては、本紙に <u>次の2点の書類</u> を添えて提出しま				
<ul><li>① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」</li></ul>				

- (本通知に同封の様式) ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
- (圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。) インターネットで提出する進学届の提出時に、入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書
- 類が調えられなかった場合を含む)。

#### (2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が <u>日本学生支援機構の定める条件に合致する</u> ことを
確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。
進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します (条件を満たす人に承諾を得ら
れなかった場合を含む。

「国の教育ローン」の申込みが"必要"とあり、入 学時特別増額貸与奨学金を利用する方は、 下記の書類2点も持参してください。 (「貸与奨学生候補者のしおり」参照)

- ※4月に振込希望の方は4月4日までに提出が必要 です
- 1.融資出来ない旨を記載した日本政策金融公庫 発行の通知文のコピー
- 2.入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書

### 4月1日~7日までに説明会にて、提出・チェックが必要なもの2

### 進学前準備チェックシート・チェックを受ける

(P1~P4を記入しておいてください。)

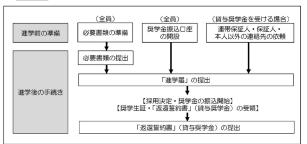
#### 【令和7年度国内大学等進学予定者用】海外大学進学予定者はこのチェックシートは使いません。

#### 進学前準備チェックシート

このチェックシートは、<u>日本国内の大学、短期大学、専修学校(専門課程)、高等専門学校へ進学予定の方</u>が、進学後の手続きに必要な「進学届」の提出を円滑に行うために、進学前に予め内容の確認及び 検討をするためのものです。※海外大学進学予定の方はこのチェックシートは使用しません。

必ず、進学するまでに、それぞれの項目について内容を確認・検討し、進学後の手続きの準備ができているか、チェックをしてください。

≪国内大学等進学予定者の採用候補者決定から採用までの流れ≫



※【給付奨学金】自宅外月額の支給を希望する場合は、自宅外から通学していることを証明する書類の提出が必要です。

(自名外通学の支給月額の振込みは、「自名外通学」であることの証明書類を提出し、不備なく 審査終了した後になります。審査終了していない場合は、申込時に「自名外通学」を選択してい る場合でも、審査が終了するまでは自名通学の支給月額が振り込まれます。)

#### ~「進学前準備チェックシート」の進め方~

「給付(貸与) 奨学生採用候補者のしおり」を読みながら、チェックシート2ページの「項目」欄の1.から順に記入します(ただし、チェックシートの「備考」欄に指定のある場合はその項目番号に進んでください)。

「給付(貸与)奨学生採用候補者のしおり」の各説明ページに記載されている 🎉 のマークは、チェックシートの項目番号に対応しています。

※ 進学する前に必要事項をすべて記入し、他の書類と一緒に、進学後の手続きが終わるまで大切に保管してください。

項目	i 目 進学するまでに確認しておく内容						
4-3,	□ 指定する予定の人に役割について説明し、承諾を得ています。						
本人以外の 連絡先 (機関保証)	29.077						
※2-1-3. 2-2-2. のいずれかー 方でも「機関 保証」を選択 した人	表   表   表   表   表   表   表   表   表   表						
. 奨学金振込[	]座						
5-1. 振込口座の 確認・選択	<ul> <li>□ 私本人名義の口座です。</li> <li>□ しばらく使用していない寺により振込ができなくなっている口座ではありません。</li> <li>□ 貯蓄専用の口座ではなく、普通預金(通常貯金)の口座です。</li> <li>□ ゆうちょ銀行 → 5-2.ヘ</li> <li>□ ゆうちょ銀行以外 → 5-3.ヘ</li> </ul>						
<b>5-2.</b> ゆうちょ銀行 の場合	記号: 番号: 名義(カナ): ※「採用版補名決定通知」に記載されたカナ氏名と同じ名義の口度である必要があります。						
5-3. ゆうちょ銀行 以外の銀行の 場合	金融機関名: 支 店 名:  □ 座 番号: 名義(カナ): ※ 「坂田昭裕末津洋知」に記載されたカナ氏名と同じ名機の口座である必要があります。						

#### ≪進学するまでに用意しておく書類≫

2ページの「検討後の内容」でチェックを入れた項目に記載のアルファベットを確認し、進学時に 《東た末編を用音」でおきましょう。

チェック	アルファベット	書類の名称
	[A]	「採用候補者決定通知」
	(B)	「入学時特別階額貸与奨学金に係る申告書」 + 副資できない旨を記載した日本政策金割公庫発行の通知又のコピー (任著はがきの場合は、申込者氏名が印字されている現名面のコピーも必要)

※ 給付奨学金の採用候補者で自宅外月額を希望する場合は、「自宅外通学」であることを証明する 書類(アパートの賃貸借契約書のコピー等)を用意しておいてください。進学先の学校へ提出する必要があります(詳細は、令和7年2月下旬以降、進学先の大学等に確認)。 口座情報の誤入力が多く見られるので、 P4に記入した、

【振込口座の通帳のコピー】<br/>
も提出してください。

進学前準備チェックシートを記入の際、 「採用候補者のしおり」も参照してく ださい。

- ・「貸与奨学生採用候補者のしおり」 P14~16「記入しましょう」
- ・「給付奨学生採用候補者のしおり」 P16「記入しましょう」

1

### 4月1日~7日までに、提出・チェックが必要なもの3

### (給付型奨学金採用候補者のみ)通学形態変更届(自宅外通学)提出

大学HPにPDFが有りますので、プリントアウトし必要箇所を記入の上、提出してください。
※ 自宅外(月額変更)の審査には、時間を要します。できるだけ早く不備のない書類を提出してください。

The Control								
学籍者	<b>肾</b> 号							
学部・	学科							
(フリ)	ザナ)							
氏名	3							
学後の	住所	₹						
車絡先 (本人)	電話番号		=:	-	携帯 電話 番号		_	-
<b>亚学</b> 全	振込口原	とについて	(全量力	の口にチェック				
				通常貯金) 口座		に設けま	した。	
給付奨	学金につ				アハナハス	I take I see	Fh か1つの	0口にチェック)
		טניכ (ו	省付奨字金(	の採用候補者と	* > C00'	Ala. U	1000 1 20	1012/17/
進4	学届にて			の採用候補者とん  ます (入学月より				<u>/                                      </u>
		「自宅通学」	を選択し		9 自宅通学	となるたと	5)。	0010717777
	学届にて	「自宅通学」	を選択し	ます(入学月より	り自宅通学 より自宅外	となるたり通学となっ	か)。 5ため)。	
	学届にて	「自宅通学」	を選択し	ます (入学月より します (入学月。	り自宅通学 より自宅外	となるたり通学となっ	か)。 5ため)。	
道:	学届にて	「自宅通学」 「自宅外通学 生学先の学校	を選択し	ます (入学月より します (入学月。	り自宅通学 より自宅外	となるたり通学となっ	か)。 5ため)。	
進っつ	学届にて いては、: <b>学金に</b> :	「自宅通学」 「自宅外通学 生学先の学校	を選択し を選択し シ を選択 を <b>入学月</b>	ます (入学月より します (入学月。	り自宅通学 より自宅外	となるたり通学となっ	か)。 5ため)。	
当 進 づ 貸与奨 I) 入学	学届にていては、	「自宅通学」 「自宅外通学 進学先の学校 のいて 自額貸与奨	を選択した を選択 を選択 交へ入学月 学金	ます (入学月より します (入学月 <b>において自宅外</b>	の自宅通学 より自宅外 通学である	となるた? 通学とな。 <b>ことの</b>	か)。 3ため)。 <b>E明書類</b> をむ	是出します。
貸与奨 (入学	学金にご時特別増	「自宅通学」 「自宅外通学 進学先の学社 のいて 自額貸与奨 額貸与奨学金額	を選択した。 を選択 を選択 交へ入学月 学金 全の利用条件	ます (入学月より します (入学月。 において自宅外 において自宅外	の自宅通学 より自宅外 通学である	となるた? 通学とな。 <b>ことの</b>	か)。 3ため)。 <b>E明書類</b> をむ	
当 (登与奨 (入学 (入学	学届にていては、 学金にご 時特別増 時特別増	「自宅通学」 「自宅外通学 生学先の学校 ひいて <b>曽額貸与奨</b> 額貸与奨学金 人は、 <u>次のと</u>	を選択した を選択した を選択 なっ入学月 学金 なの利用条件 でちらかの[	ます (入学月よ) します (入学月 において自宅外 「について、「日 コにチェック」	の自宅通学 より自宅外 通学である	となるた? 通学とな。 <b>ことの</b>	か)。 3ため)。 <b>E明書類</b> をむ	是出します。
登与奨() 入学() と印 スペ	学届にて 学金に、 時特別増 宇特別増 宇がある	「自宅通学」 「自宅外通学 生学先の学校 のいて <b>曽額貸与奨学金</b> 人は、次のと 曽額貸与奨学金	を選択した を選択した を選択した を選択した を 全人 入学月 学金 を の利用条件 できらかの に	ます (入学月s) します (入学月。 において自宅外 牛について、「日: コにチェック) します。	り自宅通学 より自宅外 通学である 本政策金融	となるた? 通学とな。 <b>ことの</b>	か)。 3ため)。 <b>E明書類</b> をむ	是出します。
登与奨 (入学と印) 入づ	学届にていては、	「自宅通学」 「自宅外通学 生学先の学材 ついて <b>曽額貸与奨学</b> 6 (人は、次のと 自額貸与奨学金 本紙に次のと	を選択した を選択した を選択した を選択した を選択した を 全 全 全 全 の 利用条件 と ちらかの に か 全 金 を 利用 2 点 の 書類	ます (入学月s) します (入学月。 において自宅外 中について、「日: コにチェック) します。 を添えて提出し	の自宅通学 より自宅外 通学である 本政策金融 ます。	となるた? 通学とな。 5ことの記 公庫の「E	ら)。 5ため)。 <b>E明書類</b> を加 <b>の教育ロー</b>	是出します。
選生 ( ) 入学 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	学届にていては、学金にご時特別増等時特別増等がある。	「自宅通学」 「自宅外通学 生学先の学杯 かいて 自額賞与奨学 値談与契学金 体紙に次のと	を選択した を選択した を選択した を選択した を選択した を選択した を の 利用条件 できらかの に からを 全 を 利用 無 変 と 点の 書類 貸 与 奨 学 分	ます (入学月よ) します (入学月よ) において自宅外 牛について、「日? コにチェック) します。 を添えて提出し &に係る申告書」	の自宅通学 より自宅外 通学である 本政策金融 ます。 (本通知に	となるたとの語学となったとの語	か)。 5ため)。 <b>E明書類</b> をも <b>ロの教育ロー</b>	是出します。
選生 ( ) 入学 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	学届にていては、学金にご時特別増等時特別増等がある。	「自宅通学」 「自宅外通学 生学先の学杯 かいて 自額賞与奨学 値談与契学金 体紙に次のと	を選択した を選択した を選択した を選択した を選択した を選択した を の 利用条件 できらかの に からを 全 を 利用 無 変 と 点の 書類 貸 与 奨 学 分	ます (入学月s) します (入学月。 において自宅外 中について、「日: コにチェック) します。 を添えて提出し	の自宅通学 より自宅外 通学である 本政策金融 ます。 (本通知に	となるたとの語学となったとの語	か)。 5ため)。 <b>E明書類</b> をも <b>ロの教育ロー</b>	是出します。
選生 ( ) 入学 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	学品にていては、学金にご時特別増享がある学時特別がいては、	「自宅通学」 「自宅外通学 生学先の学セ かいて <b>曾額貸与奨学金</b> 人は、次のと ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を選択した を選択した を選択状 学金 の利用条件 でもらかのE をを利用 変との書類 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ます (入学月よ) します (入学月よ) において自宅外 牛について、「日? コにチェック) します。 を添えて提出し &に係る申告書」	9 自宅通学 より自宅外 通学である 本政策金融 ます。 (本通知に 此公庫から	となるたと 通学とな。 6.ことの 公庫の「E に同封の杉	か)。 5.ため)。 <b>5.</b> 明書類を相 <b>6.</b> <b>6.</b> <b>7.</b> <b>9.</b> <b>9.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b>10.</b> <b>10. <b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b></b>	是出します。 ンJの申込:必要
道 選 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	学届にていては、学金にご時特別増享がある学時特別は、「入資では、」	「自宅通学」 「自宅外通学 生学先の学セ かいて <b>自額貸与奨学金</b> 人は、次のと 曹額貸与奨学本紙に次の3 本紙に次の3 にいこと はがきの場合	を選択して を選択して を選択状 学金 の利用条件 でもらかのE をを利用類 学される。 は、申込 が合は、申込	ます (入学月s・ します (入学月s・ において自宅外 において自宅外 にこりて、「日: コにチェック) します。 を添えて提出し たに係る申告書 した日本政策を & 本氏名が印字さ	り自宅通学と より自宅外 通学である。 本政策金融 ます。 (本通知に 此公庫から されている	となるたと  通学となる  ことの  公庫の「  に同封の  にの  通知文  宛名  面の	b)。 6ため)。 <b>E明書類</b> をも <b>の教育ロー</b> (対) のコピーも提	是出します。 ンJの申込:必要
選(分) (入) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で	学届にて 学金にで 学金にで 時特別増 学時特別増 がある 学時特別け に に に で に に で に に で に に で に に に で に に に の に に の に に の の の の の の の の の の の の の	「自宅通学」 「自宅外通学 生学先の学セ かいて <b>自額貸与奨学金</b> 人は、次のと 曹額貸与奨学本紙に次の3 本紙に次の3 にいこと はがきの場合	を選択した を選択した を選択した を選択した を選択した を選択 を 変別 利用条件 で 5 ちかの [ で 金を 利用 類 年 9 受 合 す 3 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で	ます (入学月よ します (入学月よ において自宅外 において自宅外 りにチェック) します。 を添えて提出し なに係る申告書) した日本政策金融 本者氏名が印字さ	り自宅通学と より自宅外 通学である。 本政策金融 ます。 (本通知に 此公庫から されている	となるたと  通学となる  ことの  公庫の「  に同封の  にの  通知文  宛名  面の	b)。 6ため)。 <b>E明書類</b> をも <b>の教育ロー</b> (対) のコピーも提	是出します。 -ンJの申込:必要 :出します。)
選のでは、 賞与要学学のでは、 というでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	学届にていては、: 学金に、  等金に、  時特別増  中時特別増  中時特別増  中では、  「入資で  「大学で  「大学で	「自宅通学」 「自宅外通学 生学先の学校 かいて 自額貸与奨学金 人は、次の2 体紙に次の3 を本紙に次の3 けながきないこと けながるの場出 いなかった場出	を選択した。 を選択した。 を選択した。 を選択した。 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、	ます (入学月よ) します (入学月、 において自宅外 中について、「日ショ コにチェック) します。 を係えて提出し、 たに係る申告書。」 たた日本政策を加いた。 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	9 自宅通学 より自宅外 より自宅外 本政策金融 ます。 (本通知)ら (本の庫から まれている 学時特別)	となるたと 通学とない (また) (また) (また) (また) (また) (また) (また) (また)	b)。 5.5ため)。 E明書 <u>類</u> をも <b>2</b> の教育ロー 続式) のコピー も提 乗学金を辞:	是出します。 -ンJの申込: <b>必要</b> :出します。) :出します (必要書
選(分) (入) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で	学届にていては、: 学金に、  等金に、  時特別増  中時特別増  中時特別増  中では、  「入資で  「大学で  「大学で	「自宅通学」 「自宅外通学 生学先の学校 かいて 自額貸与奨学金 人は、次の2 体紙に次の3 を本紙に次の3 けながきないこと けながるの場出 いなかった場出	を選択した。 を選択した。 を選択した。 を選択した。 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、 を変え、	ます (入学月よ します (入学月よ において自宅外 において自宅外 りにチェック) します。 を添えて提出し なに係る申告書) した日本政策金融 本者氏名が印字さ	9 自宅通学 より自宅外 より自宅外 本政策金融 ます。 (本通知)ら (本の庫から まれている 学時特別)	となるたと 通学とない (また) (また) (また) (また) (また) (また) (また) (また)	b)。 5.5ため)。 E明書 <u>類</u> をも <b>2</b> の教育ロー 続式) のコピー も提 乗学金を辞:	是出します。 -ンJの申込: <b>必要</b> :出します。) :出します (必要書
世 つ 登 子 学 学 年 八 つ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	学届にて、 学金に、 学金に、 学金に、 学・時特別増   ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「自宅通学」 「自宅外通学 生学先の学校 かいて 倉額貸与奨学会 人は、次の2 神紙に次の2 神紙に次の2 神にがきながらの提出 がいても 場合ではながらのでは がいては いて はいなかった場	を選択した を選択した を選択した。 を全なの をの利用条件 をもらかのに 企金を利用 整さた。 をのきない。 をは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ます (入学月よ します (入学月よ します (入学月 において自宅外 中について、「日コ コにチェック) します。 を添えて提出し にた「係る申告書」 た「日本政策金能 本著氏名が印字さ の提出時に、入 、 ないる異学金があ	9 自宅通学外 より自宅外 通学である 本政策金融 ます。 (本通知に 法公庫から 3 学時特別は	となるたと 通学となっ 6ことの 公庫の「胆 に同封のを の宛名面の 資額貸与・	かの口にチ	是出します。 -ンJの申込: <b>必要</b> :出します。) :出します (必要書
(登与 学学 ) (入 )	学届にて ( ) 学 金に ( ) 学 金に ( ) 学 金に ( ) 学 時 特 別 増 多 。 ( ) 学 時 中 け い ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	「自宅通学」 「自宅外通学生かいて 自額賞与要学金 人は、次、歩ூき 本紙に次のとき 本紙に次のといいことは かいったとはない。 はいかった場出いいった。 はいないのという。 はいかった場出いいった。 はいないない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいないない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいないない。 はいな。 はいない。 はいない。 はいな。 はいない。 はいない。 はいない。 はいな。 はいない。 はいない	を選択した。 を選択した。 を選択した。 を変かる。 を変かる。 を変わり、 を変わり。 を変わり、 を変わり、 を変わり、 を変わり、 を変わり、 を変わり、 を変わり、 を変わり、 を変わり、 を変わり、 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わり、 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わり、 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わり。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 を変わら。 をを変わら。 を変わら。 をを変し。 をを変し。 をををををををををををををををををををををををををを	ます (八学月よ します (八学月 において自宅外 中について、「日 コにチェック) します。 を訴えて提出し とに係る申告書か とに係る申告書か の提出時に、入 にいる興学金が妻 ろ予定の方が且。	9 自宅通学外 より自宅外 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	となるたとなる。  通学となる。  「ことの。  「回封のをない。  「の元名質与・こので、  「のどちらい。  「のどちらい。  「他構のない。	かのロにチ かのロにチ がある条件に	是出します。 -ン」の申込:必要 :出します。) :出します(必要書
進つ (入学年 人) (入学年 人) (入学年 人) (2 イ類 保証 連弾	学届にて、 学金にて は、 学金に で は いては 、	「自宅通学」 「自宅外の学社 」 「自を外の学社 」 「自動賞与要等のと は、次の は、次の の は、次の の は、次の の は、次の の は、次の の は、次の の は、次の の は、次の の は、次の の は、ない で が は、ない で が は、ない で が は、ない で が は、ない で が は、ない で が は、ない で が は、ない で が は、ない で が は、ない が は、な、 が は、 が は、な、 が は、な が は、ま が は、 が は、 が は、 が は、 が は、 が は、 が は	を選択した。 を選択した。 を変え、大学月 学金の利用条件で 全金ののできるののできるのである。 を金ののできるのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ます (八学月よ します (八学月 において自宅外 料について、「日: コにチェック) します。 を訴えて提出し たとて係る中告書。 した者氏名が即今。 の提出時に、入 ている奨学金があ の予定の方が日・ 依頼する予定の 体頼する予定の	り自宅通学 より自宅外 通学である 本政策金融 ます。 (本通知に 法公庫からる されている。 学時特別は ある人は、2 本文学生支援。	となるたな。 一位の たたなるためである。 たたの記録の に同対の にの通知文 のの近名面の のの近名面の である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	かの口にチ かの口にチ かの口にチ ある条件!	是出します。 -ン」の申込: 必要 出します(必要書 エック) 

給付奨学金採用候補者は2.「給付奨学金について」のいずれか一方に必ずチェックを入れること。

**自宅外から通学する方**は以下も提出してください。 **※提出がないと、自宅通学の給付になります。** 

- ① 「通学形態変更届(自宅外通学)」 (大学HPにあり)
- ② 自宅外であることの証明書類 (賃貸借契約書等)
  - ※「給付奨学生候補者のしおり」P17参照

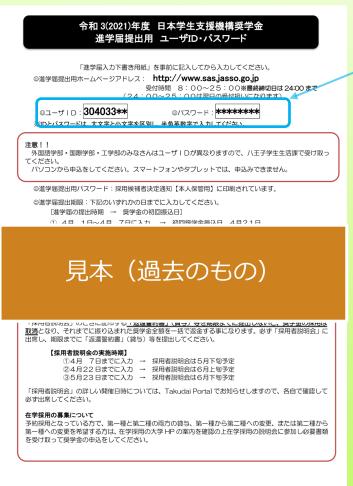
※運動部所属で入寮する学生は、入寮許可書(自宅外であることの証明書類)は大学で用意します。

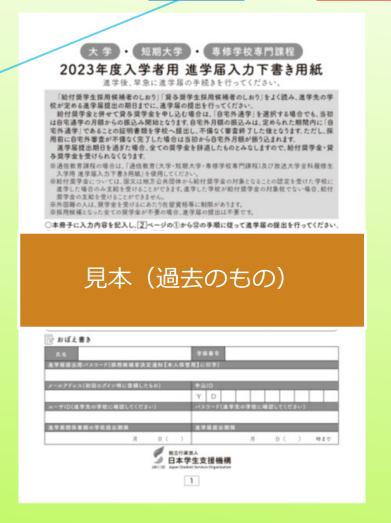
通学形態変更届の空いている所に、鉛筆書きで部活名と寮名を記入してください。

第一種学育数与金として取り扱うこ	5. 動、改進す。 でから、通子形態変更に伴う総行月額投び第一種関 前度様に変める数核いに違うことを誓称します。 には、経境型・型で支援の月間から予請数以は減額 月前変更により、即に振り込まれた全額が損益された とに同胞にます。 し、学校に提出してください。未記入の場合は不し、		の定める酸に変更され 、経検室の定めに基づき	をことが 提供 生年 学報	月日	西暦 2 0	年年	月月	H H
学校名 学部・学科 (課程・研究科)		学年		年 医(自	ガナ (名 (署)				
夏 2 0	高·号 又は		採用機補者決定。	· 加登録書号				<b>進学屋</b> ) 月	力目
通学形態変更 自宅 自宅外通学要件 及び提出書類の確認 自宅外への入居日	通学 → 自宅外通学     「自宅外通学要件確認チャート」 (	し、証明書類を添け 日 3 届 →2 届	付) □ A 月(または採用決定月	□ B □ ( )から提出日(注1)まで	C 口 内以凡代50				
AZEO ARTRO	西暦20 年 月	/	月(または採用決定月 暦 2 0 年	)から提出日( <u>注1</u> )ま7 月 日		・提出日の属す	る月が食り	EMSTROES	0
旅賞・寮養発生年月日 (注3)	西暦20 年	日 いずれかに る場合 <b>②</b> をi	ax= /	リーレントにより 所変更はないが左					
自宅外住所	, -			750000000000000000000000000000000000000	**************************************	192110	L-10/19	(1140-80	
生計維持者①(現住所)	生計維持者① (東橋: 氏 名	) =	-						
生計議持者②(現住所)	生計維持數② (統柄: 氏 名 :	) =	-						
キャンパス住所	-	'							
自宅外要件	下記①~④に当てはまるかどうかり ①~④に当てはまらず特別な理由が	Zを記入してください がある場合は、®その	い。 の他の詳細欄に新	己入をしてくださ	U's				てはまる
あその他やむを得ない特別 な事情を選択する場合	①実家から大学等までの通学距離だ	が片道80キロメート:	ル以上(目安)						
1. ①~②に当てはまらない 場合は学業とのが達で実家	②実家から大学等までの通学時間が	片道120分以上(目	安〉						
からの通学が保護な事由を 詳細機におうしてください。	③実家から大学等までの通学費が月								
2. 入事義務がある場合は.	②実家から大学等までの通学時間が 当り1本以下(目安)	4片道90分以上であり	り、通学時間帯に	こ利用できる交通	機関の運行	〒本数が1時	<b>}</b> [0]		
かの発展に「入業教務有"と なんしてください。	®その他やむを得ない特別な事情	<b>育学利田</b> :							
3)家費・寮費発生年月日は ・通学形態変更に基づき、給付 ・第一種奨学金の質等月間にこ 番組可能な月齢・変更したい	・「なが学校に復出された日(様式右上「優出 して歌められるのはまな外裏件を強し、 支払日・ロ鑑録目ではあかません。(例:2 月前および近一個別学金曽多月前を変更しまり のでは、造合物の段配をあら連接とは連鎖 場合は、第一機算学金投場月額変更度第1億 学金貴年月節の記します。)	026年4月1日から2026年 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	第3月31日までの拠りる額にします。 は2一2)で順(届)出て、 総額)が返還替約書 <ul> <li>・ 血密外置学に</li> </ul>	約期間で、家賃が4 ください。 にロ字の借用金額を 係る証明書類の議	月1日から美 上回る場合に 付が必要で	<b>独している</b> 1、後日、「資 1、	<b>多合け2</b> 02 与奨学会理		yo.
上記記載のとおり相違	ないことを証明します。			野件確認チャート」のい なホチキス留めして提 以下の「対象区	出してくださ		れた曹原	逆印しま	せん。
(学校の証明)	20 年 月	В	学校確認機 (図を記入)	A B	#####################################		□ B	□ P	#### □G
			<b>2</b> 16	番号(担当者名)		学	校番号		区分
学 校 名				Company of the Company					

## スカラネット(インターネット)にて進学届の入力

- 「採用候補者決定通知【提出用】」を提出し、記入済みの「進学前準備チェックシート」に不備のない方に 「識別番号」と「進学届入力下書き用紙」を配付します。
- ・「進学前準備チェックシート」をもとに、「進学届入力下書き用紙」を記入し、「進学届」をスカラネットで 入力してください。(スカラネットの入力には「識別番号」と「進学届け提出用パスワード」が必要です。)







## 進学届を入力すると、奨学金の振り込みが開始されます。

進学届の入力期限	初回振込日
4月1日~4月7日	4月21日
4月8日~4月23日	5月16日
4月24日~5月23日	6月11日

5月23日迄に、進学届けの入力・送信を完了しないと、予約採用は取り消しになります。

### 採用者説明会

初回の振込後、採用者説明会にて

「奨学生証」・「返還誓約書」(貸与型)・決定通知(給付型)を配付します。

振込日	説明会開催予定
4月21日	5月下旬
5月16日	6月中旬
6月11日	6月下旬

## 予約採用で「給付奨学金」が不採用となった方

- 「採用候補者決定通知」の「選考結果」欄に、「【多子世帯〇】」印が記載されている場合は、 令和7年度から国において拡充して実施する、多子世帯に対する授業料等減免が利用できる可能性が あります。
- ・4月14日~16日に開催される、在学者向けの採用説明会に参加し、給付奨学金の申し込みを検討して ください。
- ※2023年12月31日時点で、生計維持者に扶養される子どもの数が3人以上の場合、多子世帯と認められる可能性があります。

